

# あだたら

八月二日(火)〜四日(木)

## 八月山行、乗鞍岳

報告 □□□□□□□□□□

第406号  
発行所 久田町の部  
山行書 山部  
郡山市 山部  
あだたら 集  
編



乗鞍岳山頂、3日、11時52分

八月二日、平湯温泉中村館に宿泊。三日、午前五時起床。風呂に入る。六時から前日に各部屋に用意されていたおにぎりの朝食を取る。六時四十五分玄関で記念写真を撮り、朴の木平バス

ス停へ出発する。七時十分到着。バスを駐車場に入れ、各々荷物を準備し、シャトルバスに乗る。道路は狭く、段々と急になり、日光いろは坂の何倍もあるヘアピンカーブ。時折、車窓から下

界を見ると、渓谷や今通って来た道も小さく見え、いかに急な坂を登って来たことが分かる。出発する時は曇っていても明るかったが、登るにつれてガスがかかり、視界が悪い。八時十分、畳平バスターミナルに到着。辺りは視界が悪く、風も強い。山頂に登るのは、無理かもしれない。ターミナルビルで休憩をする。お花畑を見て、肩の小屋まで行って様子を見ることにし、出発する。ターミナル裏の階段を降りると、お花畑が広がり、木道沿いに、ヨツバシオガマ、イワギキョウ、コウメバチソウ、ミヤマクロユリ等、色とりどり咲き誇っていた。本道より階段を登ると、広い砂利の道路に出る。道路沿いの石橋の斜面に、コマクサの群生。写真を撮り乍ら進むと、肩の小屋に十時に到着。トイレ休憩する。風も少し弱くなり、山頂を目指すことにする。ここから登山道になり、ガラガラした岩や石の多い道になる。時折、ガスが開け、道の下方に残雪が見えた。次第に傾斜が増してきた道をジグザグに登る。頂上小屋の前を通り、剣ヶ峰の山頂に、十

一時十五分到着。風が強く、視界も悪い。乗鞍神社本宮に参拝して、記念写真を撮る。十一時三十分下山開始。頂上小屋に寄り、土産を買う。剣ヶ峰入口に十二時二十分到着。肩の小屋で休憩して、畳平バスターミナルに十三時到着。ターミナルビルで土産を買い、十三時二十分シャトルバスに乗車。十四時、朴の木平バス停に到着。小雨がちらついてくる。靴を履き替え、休憩する。十四時三十分バスに乗車し、出発。ひらゆの森で軽く昼食を取る。十五時二十分出発し、ビジネスホテルのサンククロス松本へ十七時二十分到着。部屋割り夕食会の時間を決め、各自の部屋に別れて、風呂に入り休憩する。ホテルエントランスに十八時二十分集合。歩いて、松本城前の季節料理、信州手打ちそば処「川船」へ到着。上がり稽に案内され、一同席に座り、生ジョッキを注文。本日の無事登頂を祝し、□□さんの乾杯で夕食が始まる。季節の料理、イワナの塩焼き、馬刺しに舌鼓。美味しくアルコールも進む。締めには、手打ちそばをいただいた。終了。ホテルに戻り、「川船」では、コロナ対策のため、アクリル板の仕切りがある。みんなで話しする。制限があるので、一部屋にアルコー

料理の話に盛り上がるが、明日の予定を鑑み、一時間時解散。部屋に戻って就寝となる。

編集連絡先  
二本松市 本町1-5-15  
0243(22)4245  
Fax可 渡辺 正



歩いたルート、□□さん提供



ヨツバシオガマ



イワギキョウ



コウメバチソウ



中村館 7時13分



畳平、中ノ社 8時58分

料理の話に盛り上がるが、明日の予定を鑑み、一時間時解散。部屋に戻って就寝となる。

# 八月山行、初日と二日目

報告 □□□□



霞ヶ城公園出発 2日、6時25分、□□さんは見送りに来た

【初日・二日】  
天候安定しない日が続く  
中、晴天での山行初日とな  
りました。霞ヶ城公園から  
六時三十五分、□□さん運  
転の中型バスで十一名の出

発となりました。二本松工  
Cから東北道・磐越道・北  
陸道・上信越道経由し、そ  
の途中阿賀野川SA、黒崎  
SAで休憩し、予定通り十  
二時十分善光寺へ到着しま

した。まず全員善光寺を参  
拜し近くのソバ屋で昼食と  
なりました。出発から間も  
なく、バスのクーラーが不  
調になり、三十℃以上の暑  
さの中で善光寺での休憩の  
中、対策会議となりました。  
先ず後日対応するとして、  
上高地を目指して十四時十  
分出発し、平湯温泉・中村  
館に十六時五十分到着しま  
した。急ぎ乾杯をし風呂へ  
さすがに湯花が浮き、旅の  
疲れを癒やしてくれる、最  
高の温泉でした。十八時十  
分から飛騨牛のステーキ、  
鍋と生ビールで明日の乗鞍  
岳山行の活力を充分に蓄え  
ました。



善光寺、2日12時51分

【三日目・四日】

八月四日、六時三十分か  
らそれぞれホテルで朝食を  
とり、八時に集合し、ホテ  
ルからすぐ近くの松本城ま  
で歩き、城外を散策する十  
名と、城内入城の一名に分  
かれ行動しました。小雨が  
降る中、傘をさしての観光  
となりましたが、国宝の松  
本城の黒い城壁、白い漆喰  
と威厳が漂い、何度訪れて  
も、魅入る城です。九時五  
十分、松本城を後に安曇野  
の大王わさび農場見学と昼  
食に。わさび農場の広さと  
農場の歴史を知り、多く学  
ぶことがありました。昼食  
は『本わさび飯』『せいり  
蕎麦』をそれぞれ注文し、

自分でわさびを搾り下ろ  
し、ご飯の上にあげ、本場  
のわさびで鼻にツウントし  
て美味でした。わさび畑を  
一周し、昼食・買物後に大  
王わさび農場のシンボル三  
基の水車を見て安曇野の昔  
からの姿を思い出されまし  
た。十二時五十分、帰途に  
途中大雨の情報を確認しな  
がら上信越道・北関東東北  
道と小雨の中二本松に向け  
てバスを走らせました。十  
九時三十分霞ヶ城公園駐  
車場に到着しました。今回  
の山行計画、運転を引き受  
けて頂いた□□さん、皆を励  
まして頂いた、リーダー□  
□□□□さんに感謝します。  
二泊三日の山行は、山の

二泊三日の山行は、山の



大王わさび園 4日13時2分



松本城



2日の夕食

会に入会してこそ楽しい  
日々でした。

# 八月会山行 乗鞍岳

報告 □□□□



雷鳥、□□□□さん撮影

乗鞍岳は三ヶ月前、計  
画をしたが長野県まで行く  
自信が無く諦めていたとこ  
ろ、会山行で計画されたた  
で、申し込む。妻も一緒に  
申し込んだところ参加出来  
る事になり有り難うござい  
ます。

八月三日登山口の、ほう  
のき平より、シャトルバス  
に乗車。標高一五〇〇mを  
過ぎると霧で廻りは真っ  
白。標高二七〇〇m付近で  
視界が十m位、風も有り気  
温も十度と寒く、上着やヤ  
ツケを着る人が多い。乗鞍  
本宮中ノ社で安全祈願を全  
員で行う。お花畑を散策、  
様子を見に出発する。お花  
畑では黒ユリやイチゲ、ウ  
メバチ草など多くの花々を  
見る事が出来た。木道修理  
の為、一周することが出来  
なかつたが、楽しむ事が出  
来た。登山道分岐まで戻り  
□□□□より、少し明  
るくなり風も弱くなって来  
たので、予定時間まで戻る

事が出来そうなので、これ  
から登ると言われ、登山開  
始となる。富士見岳分岐点  
あたりでは、今年は見ると  
出来ないと思っていたが、  
草に会う事が出来た。肩の  
小屋でトイレ休憩、これよ  
り急な登山道となる。朝日  
岳手前で妻が腰の痛みで、  
ここで待期する事に。外十  
人全員山頂を目指す。剣ヶ  
峰(乗鞍本宮)で眺望は望  
む事は出来なかつたが、記  
念写真は、山頂小屋で記念  
の土産等買い、楽しむ事が  
出来た。待期していた妻と合  
流、笑顔でみんなを迎えて  
くれた。妻の話、休んで居  
てくれ、初めて見る雷鳥を  
写真に撮るなど、山頂まで  
行けなかつたが最高、楽し  
みと元気づけられたが、遅  
れる事無く皆人と一緒に  
シャトルバスが待つ畳平に  
付くことが出来た。心配や  
迷惑を掛けたが、楽しむ事  
が出来たと妻。私からもお  
礼申し上げます。有り難う  
御座いました。



黒ユリ、□□□□さん撮影

# 八月十一日(木) 山の日 箕輪山・清掃登山

報告 □□□□



箕輪山頂、これから下山、11時28分

【参加者】□□□□□□、□□□□、□□□□

【行動】今年の山の日記念登山は安達太良連峰箕輪山。マウント磐梯集合で、箕輪スキー場の横向登山口からの往復だ。事務局宅脇

六時半集合、□□さんと一緒に土湯トンネル経由で、マウント磐梯を目指す。七時半には到着、ホテルの少し上に広場があり、駐車場だったはずだが、そうならない。結局はホテルの



2022.08.24  
山の日記念  
箕輪山を清掃  
登山会  
山頂まで  
清掃活動  
参加者  
事務局

2022 08 24  
福島民報紙由

前に、岳連関係者の車が止まっていたので、その一番奥に入れた。受付やって、参加者名簿貰った。驚いたが、当会は一班、リーダーは□□さん、白河山岳会・浅川山岳会は二班、リーダーは□□□□。□□□□さんなど知り合いはいるものの、なんか人選が変わった。変だと言ったが、既に配ってしまっているから、とそれまで。結局は登りは何とか先頭努めたが、降り途中で□□□□さんに言われた、

「石楠花の二花(仮称)」。撮影していたら、班の皆さんに置いて行かれてしまった。結局参加者の最後を一人でとぼとぼ降りた。

点で小休止。九時三十八分、スキー場最上部の小屋到着。直ぐ上には、冬には樹氷になる針葉樹林帯。ここで、新聞発表になった写真撮影した。樹林帯抜けると漸く低層灌木帯となる。振り返ると箕輪山西斜面が見事だ。足元にはアキノキリンソウ、オトギリソウ、ツルリンドウなど。十一時六分、箕輪山頂着。二時間四十七分。休憩含めてほぼ標準時間。山頂にはアキアカネが一杯、



石垣岩下の崩落、箕輪山頂から

鉄山西斜面が見えるが、石垣岩の下に赤土の斜面が見える、崩落しているのだ、登山道に影響がある場所ではないようだ。十一時二十八分、記念撮影して下山開始。少し降って、十一時



右から□□さん、□□さん、□□□さん

五十分、□□□さんから、石楠花の「花こぶ」示された、石楠花の葉に親指の先くらいの「白いこぶ」付いている。下山中なので撮影だけして降っていたら、また見付けた。ここには大きい物や赤いものもあって数多い。只事でないので降るの止めて本格的に撮影始めた。□□□さん以外の班員は気にもせず、どんどん降って行った。リーダーは失業状態だ。場所確認のため、



石楠花の、花こぶ(仮称) 場所、北緯37度38分56秒971 東経140度16分40秒338

め、携帯のGPSで位置確認始めた、□□□さんも呆れてか、降ってしまった。位置確認し終わって廻り見たが誰もいない。県岳連以外の人には時々会ったが、岳連関係者は降ってしまったらしい。置いて行かれた。誤りから急いで降る。しかし置いて行かれた時の焦りで、足はちっとも進まない。スキー場脇の、ブナ林の整備道路との交差点で、□□□さんに会う。足不具合だと言って、休んで居た。一緒に降り始めたが、歩き方おかしくなっていて□□□さんにも置いて行かれてしまった。登山口着十三時四十九分、「花こぶ」調べ含めて、二時間十一分。決して遅くはない、県岳連のメンバーが恐ろしく早いだ。駐車場まで待っていてくれた□□□さんに誘われて、マウント磐梯のお風呂に入る、服が脱げない、汗びっしょりで、下着までベタベタなので、何とか脱いで、タオル持って、入口の「上がり湯」浴びて先ずは露天風呂へ、温泉場のお風呂、とても深いので首迄しっかり漬かれる。これが効くのだ。楽になったので、館内の風呂に戻って頭洗ったりして、こ

んどは□□□さんと一緒に露天風呂に行く。疲れはすっかり抜けてとても楽になった。館内で 戦前の温泉成分表や昭和三十年代の、此処の案内図見付けた。カメ

ラ持ってきていなかったの

で、撮影できない。今度入浴の時は、温泉の人に断って、時間取って撮影しよう。

◆八月五日、福島民報投書欄、□□□さん「花々咲き誇る庭、楽しみが増えた」。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いので、が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。



2022.08.16 13:32

◆八月三〜四日の大雨、湯川溪谷の橋、全部流された、飛び石渡渉で渡るしかない。「天狗の磨橋」は水深いので要注意。僧悟台への馬返し橋も流された、登山道整備、やれるか? (□□理事談)。五葉松平のリフト山頂駅付近の登山道、崩落した、迂回路はある(富士急□□支配人談)。勢至平登山道、金明水付近で崩落、歩行者は通れる(□□□□□さん談、写真も)。

◆八月五日、福島民報投書欄、□□□さん「花々咲き誇る庭、楽しみが増えた」。

◆八月五日、福島民報投書欄、□□□さん「花々咲き誇る庭、楽しみが増えた」。

◆八月五日、福島民報投書欄、□□□さん「花々咲き誇る庭、楽しみが増えた」。

編集後記  
四〇六号